

カメラ まちの出来事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



踊り一色 にぎわう城下町 (8月14～16日 備中高梁駅前大通り)

県下三大踊りの一つで、362年の歴史を持つ「備中たかはし松山踊り」(同実行委員会主催)が開かれ、城下町の夜は3日間、踊り一色に染まりました。職域・団体連や子ども会連による踊りコンテスト、武士の伝統を受け継ぐ仕組踊り、子ども音頭、精霊流し、氷の彫刻展なども行われ、お盆の帰省客や家族連れ、若者ら多くの人でにぎわっていました。

日本とドイツの交流に一役 (8月24日 うかん常山公園)

日本の文化を学ぶためドイツから訪れた大学生3人が、8月24日から9月10日まで市役所でインターンシップ(企業研修)として実習しました。

この日は、企画課で広報紙の作成に携わり、市内小学生が高梁の魅力を見学するバスツアー「高梁すきすき探検隊2009」でうかん常山公園を訪れた一行取材しました。



◆ 実習生が撮影した写真





真夏の夜に華麗な絵ぶた (8月8日 マンガ絵ぶた公園一帯)

「マンガ絵ぶたまつり」(同実行委員会主催)が開かれ、アニメキャラクターなどをかたどった7基が登場。「はねと」と呼ばれる若者らが絵ぶたを動かし会場を練り歩くと、訪れた家族連れらから大きな歓声が上がっていました。また、お気に入りの「絵ぶた」の前で写真を撮る人の姿も多く見られました。

オートバイの妙技に歓声 (9月6日 原瀧山トライアルパーク)

秋晴れの空の下、「全日本トライアル選手権中国大会」(MFJ中国主催)が行われました。

決められた時間内で岩などの障害に設定されたコースを乗り越える技術を競うオートバイ競技で、高さ2mを超す大岩を軽々と跳び越えたり、岩と岩とを跳び移っていく競技者の妙技に、市内外から訪れた観客からは大きな歓声と拍手が送られました。



権現山に力強く (8月8日 有漢総合グラウンド)

「有漢町納涼ふるさと祭」(同実行委員会主催)が開かれ、ステージでは町内外の団体による備中かぐら太鼓や銭太鼓、ダンス盆踊りなどが行われたほか、会場では大きな二重の踊りの輪ができ、松山踊りや、やとさが踊られました。祭りの最後には花火が盛大に打ち上げられ、夜の権現山を彩りました。

技術の向上を目指して (8月9日 市民体育館)

バレーボールV・プレミアリーグで活躍する岡山シーガルズの河本監督や選手らを招いて、バレーボール講習会が行われました。「晴れの国トップアスリート派遣事業」により市教育委員会が主催したもので、市内のスポーツ少年団や中学生ら約150人が参加。選手らの丁寧なアドバイスを受けながらレシーブやアタックなどの基礎練習を中心に技術を学びました。



万一の災害に備えて (9月1日 市民体育館・勤労青少年ホーム)

災害に対する知識の習得と防災意識の高揚を図るため、「防災の日」に合わせ防災訓練が行われました。参加者は、豪雨や地震災害、住宅用火災警報器に関する講話を聞いた後、消防署救助隊のはしご車による救助実演を見学。安否情報を伝える災害時伝言ダイヤル・ブロードバンド伝言板の使い方や、地震体験車で震度7の揺れを体験するなど、万一の災害に備えての訓練も行いました。